

2023年12月吉日

運輸総合研究所 研究報告会 2023年度冬（第54回）ご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

運輸総合研究所におきましては、「研究報告会 2023年度冬（第54回）」を会場参加およびオンライン配信にて開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。

ご参加にあたりましては、大変恐縮ですが、申込み専用URLからお申込み頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：2024年1月29日（月）13:30～16:50（開場13:10～）

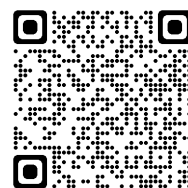
会 場：運輸総合研究所2階会議室及びオンライン配信（Zoomウェビナー）

費 用：無料

プログラム：研究員からのそれぞれの発表にコメンテーターを設け、報告の概要と意義についての解説や討議、参加者からの質疑応答を行うことにより議論の深度化を図ることとしております。（詳細別紙参照）

お申込み：下記のURLよりお申し込みください。

<https://krs.bz/jterc/m/sympo54>



※会場への来場参加につきましては、定員に達したため締め切りました。

オンライン視聴につきましては引き続きお申込みを受け付けております。

※お申し込み頂いた方には、直後に**自動返信メール**を送信いたします。

未着の方は、下記メールアドレスまでお問い合わせください。

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

Supported by  **THE NIPPON FOUNDATION**

お問い合わせ：一般財団法人運輸総合研究所（担当：小林、前田）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（UD神谷町ビル）

TEL：03-5470-8415 FAX：03-5470-8401

E-mail：collo@jttri.or.jp

HP：<https://www.jttri.or.jp>

○日 時：2024年1月29日(月) 13:30~16:50

○会 場：運輸総合研究所2階会議室及びオンライン配信 (Zoomウェビナー)

○費 用：無料

○その他：撮影・録音は禁止させていただきます。



<プログラム>

開会挨拶 宿利 正史 運輸総合研究所会長 13:30-13:40

報 告

(1) 「観光資源としての鉄道の存在意義

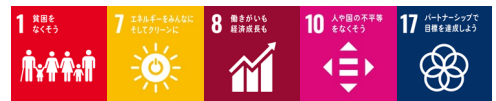
—観光資源化へ向けた取組みと効果— 13:40-15:05

発 表 武藤 雅威 運輸総合研究所主任研究員

コメンテーター 西藤 真一 桃山学院大学経営学部経営学科教授

討論・質疑応答 モデレーター 屋井 鉄雄 運輸総合研究所長

主なSDG s 関連項目



(発表概要)

観光列車などの鉄道観光資源を活用した観光客誘致が鉄道沿線地域における一つの活性化策として考えられる。これまで観光資源と考えていなかった鉄道資産を再評価し、観光資源化を進める方策もあろう。本研究では、秘境駅、撮影スポット、鉄道遺構といった既存研究において比較的知見の少ない鉄道観光資源に焦点を当てる。これらの観光資源化に取り組んでいる自治体や関係団体における保存・整備の在り方、財源、地元にもたらす効果等について事例を調査し、鉄道観光資源によって地域の活性化が図られるのか、どのように鉄道観光資源として活用すべきかについて考察する。

休 憩

15:05-15:15

(2) 「コンテナターミナルにおける海と陸の情報連携

—東南アジアでのデジタル活用事例を踏まえ— 15:15-16:40

発 表 大森 孝生 運輸総合研究所特任研究員

コメンテーター 石黒 一彦 神戸大学大学院海事科学研究科准教授

討論・質疑応答 モデレーター 屋井 鉄雄 運輸総合研究所長

主なSDG s 関連項目



(発表概要)

東南アジア諸国(インドネシア等)の玄関港コンテナターミナルでは、海側(船舶)だけでなく、陸側(トラック車両・鉄道等)情報を活用した効率化に取り組んでいる。

本研究では、特にトラック属性情報を活用した事例とデジタル化を進めるコンテナターミナルの動機づけや収益構造に着目する。海と陸をデジタル情報で連携させて成長する港湾運営組織とそれを支える人的資源、更には、本邦港湾物流の生産性向上にヒントとなるポイントについても考察する。

閉会挨拶 屋井 鉄雄 運輸総合研究所所長

16:40-16:50